

KRS 株式会社

ポジティブインパクトファイナンス評価書

2026年3月25日



大垣共立銀行とOKB総研は、KRS 株式会社（以下、「同社」）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、同社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクト/ネガティブインパクト）を分析・評価した。

この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアチブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、大垣共立銀行とOKB総研が開発した評価体系に基づいている。

目次

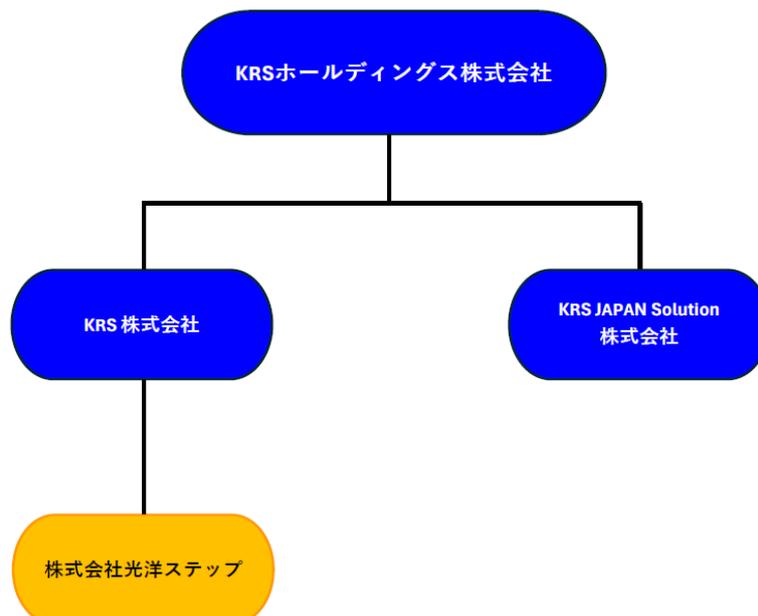
| | |
|--------------------------------------|----|
| 1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ..... | 1 |
| (1) KRS株式会社の企業概要..... | 1 |
| (2) KRS株式会社の事業概要..... | 3 |
| (3) 経営理念 | 8 |
| (4) サステナビリティ..... | 9 |
| 2. インパクトの特定 | 12 |
| (1) バリューチェーン分析..... | 12 |
| (2) インパクトマッピング | 12 |
| (3) インパクトレーダーによるマッピング | 13 |
| (4) 特定したインパクト..... | 15 |
| (5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認 | 17 |
| 3. インパクトの評価 | 19 |
| 4. モニタリング..... | 22 |
| (1) KRS株式会社におけるインパクトの管理体制 | 22 |
| (2) 大垣共立銀行によるモニタリング | 22 |

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ

(1) KRS株式会社の企業概要

| | |
|------|--|
| 企業名 | KRS 株式会社 |
| 創業 | 2001年1月 |
| 設立 | 2014年4月8日 |
| 代表者名 | 清野 光郷 |
| 資本金 | 2,000万円 |
| 社員 | 44名 (2026年1月時点) |
| 売上高 | 538百万円 (2025年8月期) |
| 事業拠点 | 本 店 岐阜県土岐市泉町大富 916-33 本 社 岐阜県土岐市肥田町肥田字穴田 2629-1 名古屋支店 愛知県名古屋市中区丸の内三丁目2番22号 松浦ビル 2F |
| 事業内容 | 建設現場における足場の架け払い及び運搬工事 |
| 関連会社 | KRS ホールディングス株式会社 (岐阜県土岐市：持ち株会社) KRS JAPAN Solution 株式会社 (岐阜県土岐市：足場工事の営業) 株式会社光洋ステップ (埼玉県加須市：総合足場工事業) |

【KRSグループ関係図】



〈沿革〉

| | |
|----------|---|
| 2001年1月 | 清野興業を創業 |
| 2012年1月 | 屋号をKRSへ変更 本店：岐阜県土岐市泉町大富、本社：岐阜県土岐市肥田町肥田 |
| 2014年4月 | KRS株式会社に組織変更（資本金300万円） |
| 2014年10月 | とび・土木工事業許可を取得（岐阜県知事許可第600606号） |
| 2020年5月 | KRS JAPAN Solution 株式会社を設立 |
| 2020年6月 | 解体工事業許可を取得（岐阜県知事許可第600606号） |
| 2023年4月 | 持株会社KRSホールディングス株式会社を設立。ホールディングス体制へ移行 |
| 2023年6月 | 資本金を2,000万円に増資 |
| 2023年7月 | 名古屋支店を開設（愛知県名古屋市中区丸の内） |
| 2025年2月 | 大型ユニック車を1台増車し、輸送力を強化 |
| 2025年9月 | 株式会社光洋ステップをグループ化 |



(2) KRS株式会社の事業概要

【事業内容】

同社は建築工事や土木工事の現場で高所作業を安全かつ効率的に行うために、建物周囲や対象箇所に作業床や手すり、昇降設備などを設置する仮設工事事業をおこなっている。マンションや工場、学校、ダム、橋といった現場の新築工事から改修工事、解体工事まで幅広く利用されている。

➤ 躯体足場

建物本体の外周に設置する最も基本となる足場



➤ 支保工（重量）足場

建設現場や土木工事においてコンクリート打設時の型枠を支え補強するための仮設構造物。重量物を支えるための特殊足場としても使用



➤ 棚足場

ステージ足場とも呼ばれており、平面的な広がりを持つ足場。体育館や劇場など天井が高い場所や軒の出が深い場所に使用



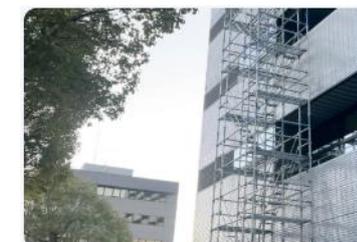
➤ 地足場

新築基礎工事に使用される掘削底面から設置する足場の総称。配筋、型枠、コンクリート打設に使用



➤ 昇降足場

作業員が高所作業をする際に昇降を目的とする仮設の階段足場



- 移動式足場
脚部にキャスターがついた移動できる足場で、上裏や天井仕上げなどに利用



- 通路足場
建物内外の移動動線を確保するための足場



- 吊足場
固定足場を設置できない場所で、上部から吊り下げて設置する特殊な足場



- 法面足場
斜面・切土面など傾斜地で作業するための専用足場



- ゴンドラ足場
高層建築物や狭小地など足場が設置できない箇所に使用するワイヤーで昇降するゴンドラ（吊り下げ式作業足場）



- モルルール足場
山間部や傾斜地で資材運搬に使うルール式設備



- 揚重足場
資材を安全に荷揚げするために使用する専用の足場



- 仮囲い
工事エリアを外部と区切り、安全と視線を遮るための仮設フェンス



- 敷鉄板
搬入車両や重機などから地盤の保護や沈下を防ぐために敷設する鋼板



- ロングスパンエレベーター
大型の工事専用エレベーターで資材と人員を高所に輸送することが可能



- タワークレーン
高層建築で重量物の揚重に用いる大型クレーン



- コンクリート打設
打設時にポンプ車を使用して生コンクリートを躯体へ流し込む作業



【同社の強み】

- 月1回の安全協議会を通じて、安全手順や改善事例、リスク予測などを社員全員で共有することにより、現場全体で安全を確保している。
- 自社による一貫施工で品質と責任の所在が明確であり、安全性と品質、工期を重視した足場工事を提供。施工後に発見された問題点についても、情報共有により迅速に対応できる体制を整えている。
- 足場組立等作業主任者や職長・安全衛生責任者を多数擁し、安全・工程・コストを加味した合理的な判断に基づく人員配置により、工期を遵守した施工ができる。
- 各工事チームの作業場所や進捗状況をシステムで一元管理している。作業員はハンズフリー無線機を活用して工事の連携を実現している。また、作業員の負担軽減のために現場に設置したカメラ映像で進捗状況を本社が確認して適切な指示をすることで、安全で効率的に工事を進めることが可能となっており、突発的な事象にもスムーズに対応できる。
- 社員のモチベーション向上のため、41段階に分かれる人事評価制度や社員のワーク・ライフ・バランスに合わせて休日取得日数変更可能な制度の導入により、採用活動をしやすい環境を整備している。

➤ 現場への作業指示と工事チーム作業場所を管理している様子


(3) 経営理念

同社は以下の理念を掲げて、事業活動に取り組んでいる。

【経営理念】

建設業を通じ 人々を幸せに

同社は、「建設業を通じ人々を幸せに」という経営理念を掲げ業務に取り組んでいる。安全で質の高い足場造りを通じて未来の街並みを支える一翼を担い、地域社会の発展と人々の生活向上に寄与することを目指している。

【行動指針】

同社は以下の行動指針を策定し、判断基準を統一することで組織としての一体感を醸成している。

01 仕事への姿勢

お客様目線で行動し常に最良のものを作り上げるために、誰にも負けない努力をします。

02 情報の共有

全員が報告・連絡・相談を行いすべての情報を共有できるように努めます。

03 作業品質の向上

私たちは改良改善を心掛け、作業品質の向上に努めます。

04 チームワーク

私たちは仲間を大切に、誠実に正しい行動をします。

05 仕事への取り組み

私たちは夢と希望を抱いて素直な心で仕事に取り組みます。

これら経営理念や行動指針などは定期的に開催している研修において、社長自ら社員に周知している。

また、今後は仕事に対する考え方など働く上の根本的な考えも共有していく方針である。

これらの方針を踏まえ、社長塾を実施し、人材を最大の資産と位置づけた上で、社長自らの講義と外部講師の招聘を通じ、主体性と成長意欲を育む人づくりを推進している。

(4) サステナビリティ

同社は SDG s 達成に向けて、以下の課題に取り組んでいる。

| |
|--|
| <p>【SDG s 達成に向けた取り組み】</p> <p>働きやすい職場づくりの推進 労働環境を整備し、全従業員が安心して働ける環境づくりを目指します。</p> <p>環境保全の取り組み 地球の環境問題に着目し、環境に配慮した事業活動を実践する事で環境保全に取り組んでまいります。</p> <p>お客様満足の追及 経営理念「建設を通じて人々を幸せに」のもと、お客様に満足していただけるサービスを提供することで安心、信頼していただける企業を目指します。</p> <p>社員教育の強化 資格取得の支援や研修実施を通じて、社員の成長を促し社会性・人間性を高める活動をして参ります。</p> |
|--|

それぞれの項目について、具体的には以下のような取り組みを行っている。

① 働きやすい職場づくりの推進

- 育児・介護等に対応した各種制度の整備
- 清流の国ぎふ健康経営宣言企業取得
- 親睦会の定期開催
- ストレスチェックの実施



② 環境保全の取り組み

- ペーパーレス化の推進
- 廃棄物処理の最適化
- LED 導入等による省エネ活動



③ お客様満足の追及

- 情報管理および保護の徹底
- アフターフォロー体制の整備
- 5S の徹底と気持ちのいい接客



④ 社員教育の強化

- 定期的な社内研修や勉強会開催による知識の刷新
- 資格取得費用の補助を通じて、社員の取得をバックアップ
- 社員が取得した資格は次ページに掲載



| ● 各種資格一覧 (2025年11月14日現在) | | | |
|--------------------------|-----|----------------------|-----|
| ■ 鳶・土工登録基幹技能者 | 5人 | ■ 足場の特別教育 | 43人 |
| ■ とび1級技能士 | 6人 | ■ フルハーネス特別教育 | 51人 |
| ■ 足場の組立等作業主任者 | 13人 | ■ 高所作業・感電防止 (全豊田) | 19人 |
| ■ 職長・安全衛生責任者 | 14人 | ■ 作業責任者 (全豊田) | 10人 |
| ■ 玉掛け技能講習 | 30人 | ■ 自由研削といし特別教育 | 3人 |
| ■ 小型移動式クレーン技能講習 | 11人 | ■ アーク溶接特別教育 | 2人 |
| ■ フォークリフト運転技能講習 | 36人 | ■ 巻き上げ機特別教育 | 3人 |
| ■ 高所作業車運転技能講習 | 7人 | ■ 高所作業車運転特別教育 | 22人 |
| ■ 型枠支保工の組立て等作業責任者 | 9人 | ■ 低圧電気取扱業務特別教育 | 2人 |
| ■ 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者 | 3人 | ■ ロープ高所作業特別教育 | 27人 |
| ■ 木造建築物組立て等作業主任者 | 3人 | ■ 特定化学物質四アルキル鉛等作業主任者 | 1人 |
| ■ 巻き上げ機特別教育 | 3人 | ■ あと施工アンカー第2種 | 1人 |
| ■ 建築物等の鉄骨組立て等作業主任者 | 3人 | ■ ずい道等の覆工作業主任者 | 1人 |
| ■ 石綿作業主任者技能講習 | 3人 | ■ 鋼橋架設等作業主任者 | 1人 |
| ■ はい作業主任者技能講習 | 2人 | ■ コンクリート橋架設等作業主任者 | 1人 |
| ■ ガス溶接技能講習 | 2人 | ■ 熱中症予防管理者 | 1人 |
| ■ 車両系建設機械運転技能講習 | 3人 | ■ 計画作成参画者 | 1人 |

【SDGs 達成に向けた取り組み以外の活動】

① 健康経営優良法人

- 2024年3月に下記施策により健康経営優良法人の認定取得。以後、継続取得している。
- 41段階に及ぶ人事評価制度を制定。経営者と社員双方が納得感を得られる仕組みが構築されている。
- 社員のライフスタイルによって年間休日を105日から130日まで選択可能。



② 優良工事会社認定証

- 一般社団法人日本足場会より優良な足場工事事業者の証である「優良工事会社認定証」を取得。
- 同社の施工体制や技術力、安全管理能力、職人の育成、社員の満足度など多面的な観点より評価され、認定に至った。
- 2025年12月時点でまだ11社しか認定を取得しておらず、同社が足場業界において最先端の経営を行っている証とも言える。



③ ISO9001 認証

- 品質マネジメントシステムの国際規格である ISO9001 認証を取得。
- 安全で高品質な足場の提供や本社内の業務効率化、社員の働きがいや施工技能の向上といった同社の取組が評価された。



④ 社会貢献

- 地域社会への貢献のため、岐阜県立可児工業高校にスピンバイクを寄贈した。



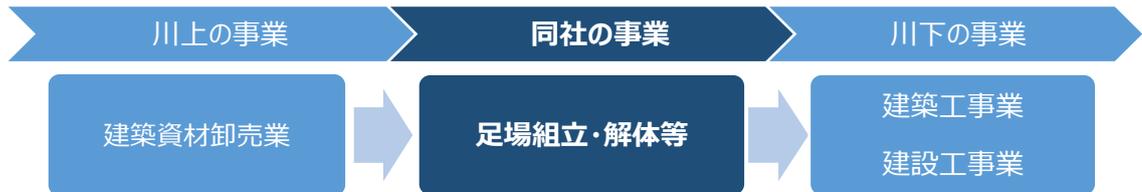
- 地元の肥田稲荷で毎年開催される餅投げ用の足場設置を無償でおこなっている。



2. インパクトの特定

(1) バリューチェーン分析

- 同社は、東海地方を営業基盤とし、主にビル・マンション、店舗や工場、中高層物件等の足場組立工事を行う。現在はマンションや工場の足場工事が売上の80%を占めるが、橋梁や、建設工事に関する構造物など足場組立工事にも取り組んでおり、施工範囲を拡大している。



(2) インパクトマッピング

- 大垣共立銀行は、先述のバリューチェーン分析の結果をもとに、インパクトマッピングを実施する。
- 同社の事業を、「その他の専門工事業（国際標準産業分類：4390）」とする。
- 川上の事業を、「建築材料、金物類及び配管・暖房設備器具卸売業（同：4663）」とする。
- 川下の事業を、「建築工事業（同：4100）」、「道路・鉄道建設業（同：4210）」とする。

(3) インパクトレーダーによるマッピング

| バリューチェーン | | | 川上の事業 | | 同社の事業 | | 川下の事業 | | | | |
|---------------------|------------------------------|------------|--------------------------------------|----------|---------------------|----------|-----------------|----------|--------------------|----------|----|
| 業種 (国際標準産業分類コード) | | | 建築材料、金物類及び 配管・暖房設備器具卸売業 (4663) | | その他の専門工事業 (4390) | | 建築工事業 (4100) | | 道路・鉄道建設業 (4210) | | |
| 大分類 | インパクトエリア | インパクト | Positive | Negative | Positive | Negative | Positive | Negative | Positive | Negative | |
| 社会 | 人格と人の安全保障 | 紛争 | | | | | | | | | |
| | | 現代の奴隷制度 | | | | ●● | | ●● | | ●● | |
| | | 児童労働 | | | | | | | | | |
| | | データのプライバシー | | | | | | | | | |
| | | 自然災害 | | | | | ●● | | ●● | | ●● |
| | 健康と安全 | 健康と安全 | | ● | | ●● | | ●● | | ●● | |
| | 資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手頃さ、品質 | 水 | | | | | | | | | |
| | | 食糧 | | | | | | | | | |
| | | エネルギー | ● | | | | | ● | ● | | |
| | | 住居 | ● | | | ●● | | ●● | | | |
| | | 健康と衛生 | ● | | | | | | | | |
| | | 教育 | | | | | | | | | |
| | | 移動手段 | | | | | | | | ●● | |
| | | 情報 | | | | | | | | | |
| | | コネクティビティ | | | | | | | | | |
| | | 文化と伝統 | | | | | | | ● | | ● |
| | | ファイナンス | | | | | | | | | |
| | 生活 | 雇用 | ● | | | ● | | ● | | ● | |
| | | 資金 | ● | | | ● | ●● | ● | ●● | ● | ●● |
| | | 社会的保護 | | ● | | ● | | ● | | ● | |
| | 平等と正義 | ジェンダー平等 | | | | | | | | | |
| | | 民族/人種の平等 | | | | | ●● | | ●● | | ●● |
| | | 年齢差別 | | | | | | | | | |
| その他の社会的弱者 | | | | | | ●● | | ●● | | ●● | |
| 社会経済 | 強力な制度、平和、安定 | 法の支配 | | | | | | | | | |
| | | 市民的自由 | | | | | | | | | |
| | 健全な経済 | セクターの多様性 | | | | | | | | | |
| | | 零細・中小企業の繁栄 | ● | | | ● | | ● | | ● | |
| | インフラ | インフラ | ● | | | ●● | | ●● | | ●● | |
| 経済収束 | 経済収束 | | | | | | | | | | |
| 自然環境 | 気候の安定性 | 気候の安定性 | | ● | | ●● | | ●● | | ●● | |
| | 生物多様性と健全な生態系 | 水域 | | ● | | | | ● | | ● | |
| | | 大気 | | ● | | | | ● | | ● | |
| | | 土壌 | | | | | ●● | | ●● | | ●● |
| | | 生物種 | | ● | | | ●● | | ●● | | ●● |
| | | 生息地 | | ●● | | | ●● | | ●● | | ●● |
| | サーキュラリティ | 資源強度 | | | | | ●● | | ●● | | ●● |
| | | 廃棄物 | | ● | | | ●● | | ●● | | ●● |

「●●」は重要な影響があるカテゴリを示す

「●」は影響があるカテゴリを示す

川上・同社・川下の事業において発現したインパクトについて、カテゴリ毎の対応するSDGsターゲットを整理する。
 なお、川上・川下の事業に関するインパクトは、同社事業活動が与える影響が無いため、インパクトの特定は行わない。

| | 大分類 | インパクトエリア | インパクト | | 取組内容 | 対応するSDGs | |
|----|------|----------|--------|----|------|--|---------|
| | | | PI | NI | | | |
| 同社 | 社会 | 健康と安全 | 健康と安全 | | ○ | 健康経営優良法人の認定取得、定期的な安全講習、熱中症/寒冷対策の実施等を通じて、従業員の健康に配慮した経営を実施している。 安全で効率的に工事を進めるため、ITツールを導入している。 | 8.5 8.8 |
| | | 生活 | 雇用 | | ○ | 家庭・プライベート・収入目標に合わせた働き方を柔軟に選べる制度を導入している。 業務に必要な資格取得支援、OJT、メンター制度導入によるスキル習得、最新技術の研修、リーダーシップトレーニングなどの研修プログラムの提供により、従業員の成長を支援している。 | 8.5 8.6 |
| | | | 賃金 | | ○ | 年に2回の昇給制度を導入している。 入社祝い制度を導入し、新入社員の金銭面の負担をサポートしている。 | 8.5 |
| | 社会経済 | インフラ | インフラ | | ○ | 建設業全体のサプライチェーンを支える基盤事業として、地域経済の活性化と安定化に貢献している。 | 9.1 |
| | 自然環境 | 気候の安定性 | 気候の安定性 | | ○ | LED照明への切り替え、フォークリフトのEV化、太陽光発電設備の設置によるCO ₂ 排出量削減に取り組んでいる。 社有車のEVやハイブリッド車などエコカーへの切り替えによるCO ₂ 排出量削減、省エネ空調設備への切替等による消費電力削減に取り組む方針である。 | 13.2 |
| | | サーキュラリティ | 廃棄物 | | ○ | 現場で排出される廃棄物は適正に分別し、鉄くず等のリサイクル可能なものは専門業者に引き渡す等、適切な処理、廃棄物削減に取り組んでいる。 | 12.5 |

※インパクトリーダーで発現したインパクトのうち、上記表に不記載のインパクトは、同社の事業と関連性が低いと評価対象外とした。

(4) 特定したインパクト

以上を踏まえて、同社のインパクトを E S G (環境・社会・ガバナンス) 毎に特定した。

環境 (Environment)

環境に配慮した経営推進

- 同社は、環境に配慮した経営を推進し、事業活動における環境への負荷軽減に努めている。具体的な取り組みとして、LED 照明への切り替え、フォークリフトの EV 化、太陽光発電設備の設置等に取り組んでいる。
- また、現場で排出される廃棄物は適正に分別し、鉄くず等のリサイクル可能なものは専門業者に引き渡すことで、産業廃棄物の適正管理と廃棄物削減に取り組んでいる。
- 本件を機に、営業車の EV やハイブリッド車などエコカーへの切り替え、省エネ空調設備への切り替え等による消費電力削減に取り組んでいく方針である。
- このインパクトは UNEP FI のインパクトでは、「気候の安定性」、「廃棄物」のカテゴリに該当し、自然環境面の NI を縮小すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
- 12.5 : 2030 年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
- 13.2 : 気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。

社会 (Social)

社会インフラの安全性向上と持続可能な地域社会への貢献

- 同社は、東海地方を中心に公共・土木・ゼネコン案件まで幅広く対応できる足場専門企業としての高い施工技術と、多様な現場に応じた柔軟な足場組立能力を有しており、マンションや工場、橋梁、法面など幅広い施工実績を持ち、自社で教育した職人による高い自社施工率が、品質と現場対応力の向上に繋がっている。さらに、IT ツールを活用した迅速なレスポンスや顧客に誠実に向き合う姿勢を重視し、地域に密着した企業として信頼を獲得している。
- これらの強みを生かし、建設現場に安全で効率的な作業環境を提供することで、地域のインフラ整備や建設品質の向上に寄与し、「足場組立工事業」を通じて社会へ貢献している。
- このインパクトは「インフラ」のカテゴリに該当し、社会経済面の PI を拡大すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
- 9.1 : 全ての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱 (レジリエント) なインフラを開発する。

人材育成の推進と働きがいを高める職場環境の整備

- 同社は、人材育成・働きやすさ・充実した福利厚生を通じ、長く安心して働ける職場環境づくりに取り組んでいる。
- 人材育成面では、入社後の教育制度やキャリアステップ制度を整備し、着実に成長できる環境を提供している。業務習得に関しては、鳶・土工登録基幹技能者/足場の組立等作業主任者等の資格取得支援や、先輩社員が伴走するサポート体制、基本的な研修を通じて支援している。また、「社長塾」と呼ばれる、社長もしくは外部講師による、主体性と成長意欲を育む人づくりを推進する研修を行っている。今後は、研修時間を増やし、より手厚い育成環境を整えていく方針である。
- ワーク・ライフ・バランスでは、選べる休日形態を導入し、働き方の柔軟性を確保している。加えて平均残業月 18 時間、完全週休二日制など、オンとオフを切り替えやすい環境を整えている。
- 福利厚生では、入社祝金・引越し補助・家賃補助といった手厚い支援制度の他、年 2 回の昇給制度が導入されており、努力や成果が待遇に反映される仕組みになっている。これらの取り組みを通じ、社員が安心して成長し続けられる魅力的な職場環境を実現している。
- このインパクトは「雇用」、「賃金」のカテゴリに該当し、社会面の PI を拡大すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 8.5：2030 年までに、若者や障がい者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。
 - 8.6：就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。

企業統治（Governance）

安全な職場環境の整備

- 同社は、「常に安全に心がけ、事故やケガのない確実な施工を行う」ことを重視し、従業員が安心して働ける環境づくりに努めている。
- 足場の組立や高所作業に必要な資格保持者が多数在籍し、「足場の組立等作業主任者」、「フルハーネス特別教育」など安全に直結する技術を備えた人材を育成している。施工時には自社スタッフが安全管理を徹底し、周囲への配慮を行いながら作業を進め、完了後は法令に基づく点検で安全を確認する体制も整備されている。こうした取り組みにより、同社は事故防止と安全確保を最優先とした職場環境を提供している。
- また、健康経営優良法人認定の取得、熱中症・寒冷対策など現場環境への配慮等により、従業員が心身ともに健康で働ける職場環境を提供している。
- このインパクトは「健康と安全」のカテゴリに該当し、社会面の NI を縮小すると考えられる。
 - SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 8.8：移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。

(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認

① 国内におけるインパクトニーズ

- 国内における「SDGs インデックス&ダッシュボード」を参照し、国内のインパクトニーズと同社のインパクトを確認する。
- 上記工程を経て特定した、同社のインパクトに対する SDGs は、「8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する」、「9. 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る」、「12. 持続可能な生産消費形態を確保する」、「13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」に対して、国内における SDGs ダッシュボードでは、「12、13」において大きな課題が残る、「8、9」において、課題が残るまたは重要な課題が残るとなっており、国内のインパクトニーズと同社のインパクトが一定の関係性があることを確認した。



② 岐阜県におけるインパクトニーズ

- 岐阜県における「SDGs 未来都市計画」を参照し、岐阜県における SDGs 達成に向けての課題を確認した。

2030 年のあるべき姿

自然と人が創り出す 世界に誇る「清流の国ぎふ」

【「あるべき姿」を実現するための共通認識】

- 森林や清流などの豊かな自然は、全国・世界にも誇れる本県ならではの「自然資本」
- 各地域が特徴を活かし、地域内で財やエネルギーが循環する「地域循環共生社会」を形成すべき
- SDGs は地球で暮らす一人ひとりが最低限備えるべきマナーと理解すべき

<環境> 美しい清流とそれを育む豊かな森の保全と活用

- 「脱炭素社会ぎふ」の実現
- 資源循環型社会の形成
- 自然環境や生物多様性の保全と産業等での活用の両立
- 自然災害への対策の構築

<経済> 「清流の国ぎふ」ブランドと変化に強い地域経済の確立

- 伝統産業や農林水産業の世界的評価を獲得
- DXによる産業分野の競争力の発揮
- サステイナブル・ツーリズムの確立
- コロナ等社会経済情勢の変化に強い産業の確立

<社会> 誰もが活躍し生きがいを感じられる地域社会の構築

- 多様な人材の活躍
- デジタル社会、SDGs、グローバル社会に対応した教育の展開
- 人口減少下でも活力ある地域社会の構築
- 子育て支援等福祉医療の充実

③ 大垣共立銀行が認識する社会課題との整合性

- 大垣共立銀行は、「サステナビリティ基本方針」において「地域経済の持続的成長」「地域のイノベーション支援」「多様な人材の活躍推進」「気候変動対応、環境保全」「地域資源の活用」「コーポレートガバナンスの高度化」の6つを重点課題（マテリアリティ）としている。
- 同社の特定したインパクトは以下の通り、大垣共立銀行の重点課題（マテリアリティ）と方向性が一致する。

| 同社の特定したインパクト | 大垣共立銀行の重点課題（マテリアリティ） |
|--------------------------------------|----------------------|
| 環境に配慮した経営推進 | 気候変動対応、環境保全 |
| 社会インフラの安全性向上と持続可能な地域社会への貢献 | 地域経済の持続的成長 |
| 人材育成の推進と働きがい高める職場環境の整備 安全な職場環境の整備 | 多様な人材の活躍推進 |

以上のように、大垣共立銀行は本件の取組みが、SDGs の達成および貢献に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることにつながることを目指している。

3. インパクトの評価

ここでは、特定したインパクトの発現状況を今後も測定可能なものにするため、PI の拡大、NI の緩和・管理が適切になされるかを評価し、特定したインパクトに対し、それぞれに KPI を設定する

環境に配慮した経営推進

| 項目 | 内容 |
|-----------|--|
| インパクトの種類 | 自然環境的側面において NI を縮小 |
| カテゴリ | 「気候の安定性」 |
| 関連する SDGs |  |
| 内容・対応方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・実践済みのフォークリフトの EV 化だけでなく、営業車の EV やハイブリッド車などエコカーへの切り替えによる CO₂排出量削減の推進 ・導入済みの太陽光発電に加えて、省エネ空調設備への順次切替等による消費電力削減の推進 |
| KPI | <ul style="list-style-type: none"> ・2030 年 8 月期までに営業車のエコカー率を 100%にする (2026 年 1 月時点 : 71% <5/7 台>) ・2030 年 8 月期までに、消費電力量を 2025 年 8 月期比 6%以上削減する (2025 年 8 月期実績 : 43,695kWh) |

社会インフラの安全性向上と持続可能な地域社会への貢献

| 項目 | 内容 |
|----------|--|
| インパクトの種類 | 社会経済的側面においてPIを拡大 |
| カテゴリ | 「インフラ」 |
| 関連するSDGs |  9 産業と技術革新の基盤をつくろう |
| 内容・対応方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・橋梁・高速道路のり面等の工事を支える安全・高品質な足場施工により、公共・土木工事の円滑な実施に寄与 |
| KPI | <ul style="list-style-type: none"> ・2030年8月期までに、土木工事（橋梁、高速道路のり面等）関連の売上高を2億円以上に拡大する (2025年8月期実績：0.5億円) |

人材育成の推進と働きがいを高める職場環境の整備

| 項目 | 内容 |
|-----------|--|
| インパクトの種類 | 社会的側面において PI を拡大 |
| カテゴリ | 「雇用」 |
| 関連する SDGs |  |
| 内容・対応方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・資格取得サポートや資格手当の付与によるスキルアップ支援 ・「足場の組立等作業主任者」「職長・安全衛生責任者」の取得によるプロ意識の向上および社会的評価の向上 ・従業員ひとりひとりのモチベーションを尊重し、社長塾を核として主体性と成長意欲を育む人づくりを推進 |
| KPI | <ul style="list-style-type: none"> ・2030 年 8 月期までに、足場の組立等作業主任者※1 資格取得者を 20 名以上とする (2025 年 11 月時点：取得者 13 名) ・2030 年 8 月期までに、職長・安全衛生責任者※2 資格取得者を 20 名以上とする (2025 年 11 月時点：取得者 14 名) ・2028 年 8 月期までに、従業員一人あたりの平均教育・研修時間を 4 時間/月以上とする (2025 年 8 月期実績：2 時間/月) <p>※以降の KPI は改めて設定する</p> <p>※1 足場の組立て・解体・変更作業において、安全管理を担う法定選任資格者</p> <p>※2 現場作業の指揮と安全衛生管理を担う、法定教育修了者</p> |

4. モニタリング

(1) KRS株式会社におけるインパクトの管理体制

- 同社では、代表取締役 清野光郷氏を中心に、本 PIF におけるインパクトの特定ならびに KPI の策定を行った。
- 今後については、本件にかかる責任者を代表取締役 清野光郷氏とし、SDGs の推進、ならびに、本 PIF で策定した KPI の管理を行っていく方針である。

(2) 大垣共立銀行によるモニタリング

- 本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、同社と大垣共立銀行の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。少なくとも年に 1 回実施するほか、日々の情報交換や営業活動を通じて実施する。

【留意事項】

1. 本評価書の内容は、大垣共立銀行とOKB総研が現時点で入手可能な公開情報、同社から提供された情報や同社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 大垣共立銀行、およびOKB総研が本評価に際して用いた情報は、大垣共立銀行およびOKB総研がその裁量により信頼できると判断したものであるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利はOKB総研に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳および翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。